

# いきものみつけ隊通信



## 「バッタなどの秋の昆虫を見つけに行こう！Part 2」

「森のがっこう いきものみつけ隊」第6回目の活動報告です。今回は前回に引き続き秋の時期に多く見られるバッタやカマキリなどの秋の昆虫を見つけることがテーマです。今回は雨のために生き物探しは残念ながら中止でしたが、今回は生き物探しに行くことができたのでしょうか。それでは活動報告スタートです。



前回とは打って変わって晴天の下、まずは班ごとに自己紹介をし、早速生き物探しに出発です。11月に入るとカマキリは立派な成虫となっており、特にオオカマキリは迫力満点です。ぱっと見ただけではいそうにない草むらでも、じーっと観察してみると…葉っぱのように擬態しているカマキリが見つかります。リーダーが見つけれなくても子ども達はすぐに見つけ、あっという間に沢山のカマキリを捕まえることができました。他にも冬眠前のカエルや色々な種類のバッタ、カブトムシの幼虫など、多くの生き物を見つけることができました。



午後からは「越冬する虫たちのためのベッドを作ってあげよう！」というテーマで、古くから害虫駆除の方法の一つとしてされてきた「こも巻き」に挑戦しました。ワラを木に巻いてあげることで寒さから逃れるためにテントウムシなどの昆虫たちが集まってきます。本来のこも巻きでは春に外したワラを焼却して害虫駆除に役立っていますが、いきものみつけ隊では暖かくなった3月にどんな生き物が冬越しをしているかを観察することを楽しみに、班ごとに好きな木にワラを巻きつけ、自分達が作成したものと分かるようにイラストや文字を書きました。



今回のおやつはベジタベるやきのこの山、コーンフレークなどのお菓子で秋の森を表現しました。ポッキーを枝にしてベジタベるは紅葉する葉っぱです。みんなでワイワイ言いながらそれぞれの秋の森が完成しました。



そうこうしているうちに今回の活動はおしまいです。秋の生き物探しをたっぷり体験でき、昆虫たちの冬支度にも協力、とっても充実した活動となりました。

(記・宮嶋)



### スタッフのつぶやき

今回は天気に恵まれたので思う存分生き物探しを楽しむことができました。子ども達は受付が終わった瞬間、早速生き物探しがスタート。事務所前の植栽を調べてあつという間にカマキリをゲット！花壇にできたアリジゴクの巣から次々にアリジゴクの幼虫を捕まえるなど、始まる前からエンジン全開でした。見つける、捕まえる、観察する時の子ども達は好奇心のかたまりです。この好奇心を大切に子ども達にはこれからも思う存分生き物探しを楽しんでもらおうと考えています(記・宮嶋)



### ★次回(1/8)のプログラム★

次回のテーマは「森の奥へ野生動物の痕跡探しに出掛けよう！」です。イノシシやタヌキ、ウサギなど、アクトランドの森には生き物がいっぱい！そんな動物達の痕跡を探しに出掛けます。

